

# 民話からみる益田川

～調べ、歩き、聴き、学ぶ～



下呂温泉を流れる益田川（2015年8月11日）

岐阜県立益田清風高等学校 地域研究

# 民話からみる益田川

～調べ、歩き、聴き、学ぶ～

◇目次	.....	1
◇はじめに	.....	2
◇1章 益田川の概要		
1 益田川の定義	.....	3
2 益田川の支流	.....	5
◇2章 益田川流域に伝わる民話調査		
1 高山市高根町地域の民話	.....	8
(1-1) ちんまが池		
(1-2) カッパ (かわっぱ、ガオロ、ガーランベ) の話		
2 高山市朝日町地域の民話	.....	14
(2-1) 蜘蛛だ淵		
(2-2) 龍宮淵		
3 高山市久々野町地域の民話	.....	16
(3-1) 曲取岩		
(3-2) 釜淵		
4 下呂市小坂町地域の民話	.....	20
(4-1) 鬼退治地藏		
(4-2) 釜ヶ淵		
(4-3) 朝六 (あさむつ) 橋		
(4-4) 力持ち小太郎		
(4-5) がたがた橋		
5 下呂市萩原町地域の民話	.....	29
(5-1) ダンゴ淵とイワナ		
(5-2) 水よぶ鯉		
6 下呂市下呂地域の民話	.....	34
(6-1) しらさぎ伝説		
(6-2) 椀貸せ淵		
(6-3) 孝池水 (こうちすい)		
7 下呂市金山地域の民話	.....	40
(7-1) 波切不動		
(7-2) 鶏鳴滝		
8 下呂市馬瀬地域の民話	.....	45
(8-1) 八百比丘尼		
(8-2) かいだん淵		
◇3章 まとめと考察		
1 民話の内容について	.....	50
2 民話の舞台について	.....	52
◇最後に	.....	55
◇参考資料	.....	56

民話からみる益田川 ～調べ、歩き、聴き、学ぶ～

## はじめに

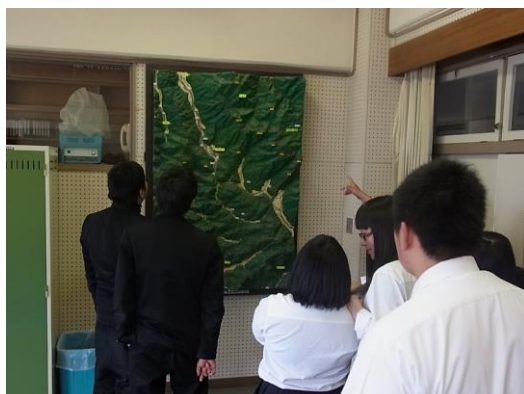
私たちの学校がある下呂市には数多くの河川がある。いずれの河川も飛騨川そして木曾川を形成し、太平洋に注ぐ。正式な河川の名称（河川法による）は「飛騨川」であるが、私たちは昔からの呼び名である「益田川」を使う。益田川は地域の歴史・生活を考える上でなくてはならない自然環境であり、地域を形成する柱の一つである。水や水産物の獲得、集落の形成、河川沿いに開かれた交通路の発達、そして文化の交流。これまでに調査した「益田三十三観音」や「朴葉寿司」の研究を通して、信仰行事や食文化が河川沿いに形成され、集落ごとにまとまった文化圏をなしていることを確認した。

平成の町村合併によって益田郡は下呂市となり、私たちの校名にも使われている「益田」の名称を聞くことが少なくなってきたが、益田川に関わる多くの民話は語り伝えられている。本研究で私たちは益田川およびその支流に関する地域の地理的・歴史的資料と、各地域の民話に関する資料を分担して調査した。その後、夏休みに物語の舞台となった地域の確認と聞き取りなど現地での取材を行いながら、益田川に関する文化の再考察を行った。最後に、研究全体を振り返り、地域の民話の特徴や考えたことについて述べた。各調査にあたっては、地域の方々、また校内の先生方から丁寧な説明をしていただき、より詳しく話の内容を確認することができた。協力していただいた皆様に改めて感謝したい。

なお、本文に掲載している写真はすべて卒業生を含む授業選択者が現地取材で撮影したものであり、特に表示がない限り今年撮影したものである。また、イラストは今年度の選択者によるものである。



1 / 25000 地形図を組み合わせる  
(5月8日図書館)



立体地図を使った地域地理の確認  
(5月11日視聴覚室)



民話資料の調査 (6月25日図書館)



調査内容発表 (6月29日情報学習室)